

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.1.22 No.180

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

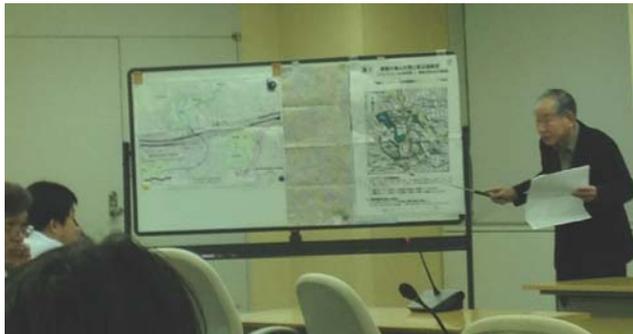
http://yamadakohei.jp

外環の2地上部街路計画に大きな転換点

住民の都市計画廃止提案を東京都が受理

地権者の80%近くが廃止に賛同 計画廃止への民意が示される

一月十九日(月)「外環の2・一部区間廃止の都市計画提案」を東京都が正式に受理したことを受け、計画沿線住民による記者会見が行なわれました。私も計画沿線で活動する議員として参加しました。



今回の都市計画提案は杉並区善福寺二丁目(約300m)の住民が「当該部分の都市計画を廃止してほしい」という提案を都に提出。

公の都市計画提案制度を活用した道路での提案は東京都初であり、廃止の例は全国でも前例がありません。

また、地権者の約79%が外環の2道路を不要と判断したことは重大です。

住民の3年を掛けた取り組み マスコミ各社が一斉に報道

この間、計画沿線の住民は法令上の基準に適合させるため、3年間を掛けて取り組みを進めてきました。住民が都市計画提案を行なうことは極めて困難なことでもあり、地道な調査活動と賛同者を募る努力が実を結びました。

マスコミ各社の報道



一月二十日付東京新聞より

記者会見にはマスコミ各社が参加し、一斉に報道しています(右参照)。

今後、杉並区の判断が待たれる

今回の都市計画提案を受け、都は地元自治体(杉並区)の意見を聞いたのち、遅滞なく、この提案に基づく都市計画を定めるか判断します。都市計画審議会にも掛けられ、審議が行なわれます。

杉並区は外環の2について「ゼロベースで検討」という立場ですが、重大な民意が示されたことを受け、計画廃止への姿勢を示すのが問われます。

都市計画提案とは

都市計画法の第21条の2には、都市計画の変更についての提案が自由に出来る制度が用意されている。提案に必要な3要件(下記)がある。

- ①一定の面積以上の一団の土地であること(5000㎡以上) ②土地所有者の2/3以上の同意、それら所有者の持つ土地面積も2/3以上 ③都市計画に関する法令上の基準に適合している

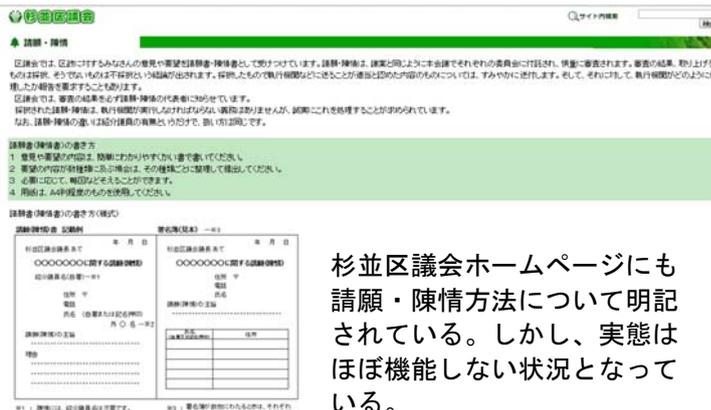
杉並区議団調査で明らかに...

請願・陳情審査率 23区でワースト2の衝撃!

請願・陳情の審査状況

(2011年改選後～2014年11月末日)

区	請願 陳情受理数	審査率
千代田	109	100%
中央	38	97%
港	122	97%
新宿	135	99%
文京	196	100%
台東	153	93%
墨田	46	100%
江東	314	97%
品川	121	99%
目黒	115	100%
大田	310	100%
世田谷	85	100%
渋谷	117	100%
中野	64	97%
豊島	131	100%
北	119	100%
荒川	83	86%
板橋	177	100%
練馬	204	31%
足立	125	100%
葛飾	38	100%
江戸川	220	100%
杉並	129	36%



杉並区議会ホームページにも請願・陳情方法について明記されている。しかし、実態はほぼ機能しない状況となっている。

審査率向上は急務の課題 改選の前の対応が必要

この間、杉並区議会の請願・陳情の審査率の低さの問題について取り上げてきました。今回、党区議団の調査要請により東京二十三区の各区議会の請願・陳情審査状況が明らかになりました。

住民に開かれた議会へ

調査結果は衝撃的なものであり、杉並区の請願・陳情審査率は東京二十三区内でワースト二位の36%(ワースト一位は練馬区31%)でした。

他区と比較しても異常に低い状況です。各地方議会により、請願・陳情の処理方法に様々な差異がある状況ですが、適切な処理も審査もされず、放置されていることは極めて問題です。

請願・陳情は住民の権利でもあり、議会改選の前に、適切な審査が行なわれるよう区議会に改めて働きかけます。

育メン日誌

忙し過ぎる一月...

我が家は混沌とした状態に

一月は各議員にとって非常に忙しい月となります。新年の挨拶回りや各団体の新年会、第一回定例会の準備、今年は4月実施の選挙



準備も合わさり、大混乱となっています。特に我が家の状態は悲惨です...。片付けも満足に出来ないで、左写真の様な混沌とした状況が発生します。もはや、笑うしかありません!

大変な状態ですが実家の助けも受けながら何とか切り盛りしたいと思えます。

とり込んだ洗濯物を畳む前に、妹が兄のパンツをかぶり、踊りまくるというシュールな光景が... (苦笑)。

引き続き、認可保育園整備が必要

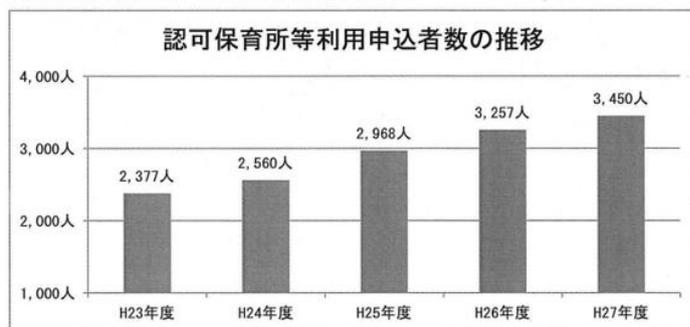
今年も約1500人が入園出来ず...

1月19日(月)、2015年4月の認可保育園の利用申請者数が発表されました。

前年比193人増の3450人の利用申請があり、入園可能数1973人(小規模保育所22人を含む)と単純比較すると1477人が認可保育園に入園出来ないこととなります。

依然として、保育園の不足は深刻な状況です。引き続き、認可保育園の増設に全力で取り組みます。

○利用申込者数は、前年比193人増の3,450人



保育ニーズは年々増加の一途